

入学

アドミッション・ポリシー 2頁に準拠して学生を募集しています。おもに専任教員が担当する演習ゼミと講義を右に抜粋しました。専門科目についてはHP「史学科の4年間」も参照してください。

1回生

入門ゼミ

入門演習

基礎ゼミ

基礎演習 I

概論講義

日本古代中世史

日本近世史・日本近現代史

東洋古代中世史・東洋近現代史

西洋古代中世史・西洋近現代史

日本考古学・日本民俗学

歴史資料学入門

漢文講読入門

2回生

基礎ゼミ

基礎演習 II

専門ゼミ

史学演習 I

史料講読

日本史料講読 I～IV

古文書講読 I・II

東洋史料講読 I・II

西洋史料講読 I・II

専門実習

日本考古学資料研究

日本民俗学資料研究 I・II

3回生

専門ゼミ

史学演習 II・III

特殊講義

日本史特殊講義 I～VII

宗教思想史 I・II

日本古文書学 I・II

東洋史特殊講義 I～IV

西洋史特殊講義 I～IV

日本考古学特殊講義 I・II

日本民俗学特殊講義 I・II

4回生

卒業論文

専門ゼミ

史学演習 IV・V

これらの他にも、史学科のカリキュラム・ポリシー 3頁

に基づいて開講される必修科目、全学共通教養科目、資格や免許取得に関わる科目、などを履修して卒業を目指します。

4年間でどのような学生に成長できるのか、つまり卒業を認定するための基準は、

ディプロマ・ポリシー 4頁

に示してあります。

入門

基礎

展開

完成



入学者の受け入れに関する方針 (抜粋)

例えば、以下のような学生を求めています

知識
技能

- ・ 幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身につけようとする意欲を持つ者。

思考力
判断力
表現力

- ・ 研究発表ならびにレポートや卒業論文に真摯に取り組み、正確で論理的な思考力と、口頭と文章による的確な表現力を身につけようとする意欲を持つ者。

主体性
多様性
協働性

- ・ 多様な歴史学上の視点や学説を積極的に受容し、みずからの視座を確立しようとする意欲を持つ者。

教育課程の編成や実施に関する方針 (抜粋)

以下のような方針でカリキュラムを作成しています

教育課程 の編成

・ 専門科目を、概論群、講読・実習群、特殊講義群、演習群、卒業論文の5つに分類している。学芸員資格や教員免許の取得に必要な歴史学隣接分野の科目も、専門科目内に多く開設している。

科目群毎の 教育内容

- ・ 概論群では、歴史学に関する幅広い知識と多様な歴史観を身につける。
- ・ 講読・実習群では、史料講読や歴史的資料の取り扱いを通して、資史料を基に歴史像を描く能力を養成する。
- ・ 特殊講義群では、歴史学の最先端の講義を通して、自らが課題を設定して卒業論文を作成していく意識を高める。
- ・ 演習群は、課題を主体的に発見し解決する力と対話力を養成する中心的授業として特に重視し、初年次の入門演習をはじめとして、各年次にもれなく配置している。

卒業の認定に関する方針 (抜粋)

以下のような学生に学位を認定しています

知識
技能

・ 自己の研究課題に関する資史料（文献資料・考古資料・民俗資料など）の所在を調べて広く収集し、読解する技能を有している。

思考力
判断力
表現力

・ 講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。

主体性
多様性
協働性

・ 演習形式の授業に積極的に取り組み、主体的に自己の問題を解決できる能力を有している。

ディプロマ・ポリシー

